

第 15 回香美市立図書館建設等検討委員会

平成 30 年 10 月 30 日 18:00～

本庁 3 階会議室

出席委員：中村直人委員長

岡林良浩委員・小松伯聖委員・式地美智委員・濱田佳奈子委員

伴貴世子委員・町田由岐子委員・山重壮一委員

事務局：時久恵子教育長・野島恵一次長・岡本博章課長・依光伸枝班長・山下聡

佐竹慶子館長・門脇真里副館長・松岡可奈

設計者（東畑・依光建築設計企業体）：松森織江・大西広朗・依光成元・依光孝和

CM（日建設計CM）：森健一

事務局

（あいさつと新委員、事務局、設計者の紹介）

委員長

それでは設計者選定の経過について、事務局から報告をお願いします。

事務局

事務局では、基本計画策定後、設計者の募集方法や審査方法について、検討を行いました。

募集方法については、多くの会社に参加できるように公募型としました。審査方法は、よりよい設計者を選択するため、委託料のみを競争する形でなく、業務の実施体制や実績、提案内容によって設計者を選ぶプロポーザル方式としました。

設計者選定にあたっては、学識経験者の方々による審査委員会を組織し、プロポーザル要領の検討と設計者の審査をすすめました。

設計者選定の経緯にうつりまして、7月13日には第1回の審査委員会を開催し、事務局作成の要領案を検討し、7月19日にはその内容を公開して、設計者の募集を開始しました。そこから9月20日まで、3回の審査を行い、設計者の選定を行いました。

第一次審査は、参加資格と参加条件を満たしているかについて、事務局が審査を行いました。21社の参加表明があり、その内参加資格等を満たしていた15社に第二次審査書類の提出を依頼しました。

第二次審査書類の提出を依頼した15社の内、12社より書類の提出がありました。9月4日において、審査委員の方々に審査いただき、この内5社を選定しました。

9月20日に、選定した5社につきまして、プレゼンテーションとヒアリングにいただきました。その後、審査委員の方々により第三次審査が行われ、最優秀者と次点者を決定し

ました。

そうして、選ばれましたのが、本日より本検討委員会に加わっていただく、「東畑・依光建築設計企業体」様です。以上が設計者選定の経過となります。

委員長

何かご質問やご意見はありますか。なければ、次の説明をお願いします。

事務局

現時点での事業スケジュールについて、説明します。

まず、基本設計は10月より6ヶ月間でその内容を確定します。この基本設計の進め方については、後ほど詳細を説明します。来年度になれば、実施設計を6ヶ月間で作成します。

また、設計と並行して、埋蔵文化財調査、用地の購入、開発の協議をすすめ、2020年に入れば、建築工事の着工となる予定です。

工事工期については、造成工事を4ヶ月、建築本体工事を12ヶ月、外構工事を4ヶ月見込んで予定を立てていますが、これは今後の設計内容で期間が変わる可能性があります。工事発注時期は2020年2月頃を目標にすすめていきます。

新図書館の移転作業について、外構工事完了後3ヶ月を見込んでいます。このような形ですとすれば、現時点では2021年の9月には新図書館が開館できる予定です。

引き続き基本設計の検討につきまして、スケジュール案を説明します。まず、検討する期間についてです。基本設計の成果品を仕上げる期間が1ヶ月間必要ですので、この期間を差引します。よって、これから4ヶ月間で検討を行います。

各会議の日程につきまして、予定を組んでいます。建設等検討委員会は、各月の最終の週の火曜日としています。設計定例会は隔週の水曜日に行います。市民懇談会につきまして、11月と2月に開催する予定です。

続いて、検討の進め方を説明します。4ヶ月間で基本設計を検討するために、議論が後戻りしないよう、段階的・計画的な検討が必要と考え、各月毎に協議項目を定めて、取り組みます。

11月は建物の敷地に対する配置、ゾーニング、駐車場計画などを予定しています。

12月は平面及び断面計画、各室の機能などを予定しています。

1月はデザイン、書架や家具、施設設備などを予定しています。

2月は、検討を重ねた結果である基本設計案について、最終調整を予定しています。

2月開催予定の市民懇談会では、検討を重ねた形を参加者に説明したいと考えています。

11月の検討項目である「建物の敷地に対する配置」は重要になります。理由の一つが、早期に地質調査を実施するためです。地質調査は建物の位置が決まってから、着手します。もう一つの理由が埋蔵文化財の本掘調査に入るためです。建物の位置が決まり、工事で掘削する範囲が決まらなると本掘調査に入れません。埋蔵文化財調査は5ヶ月間を予定して

いるため、可能な限り、早期着手が必要です。以上の理由により、11月には建物の敷地に対する配置について、承認いただきたいです。以上が事業スケジュールについての説明です。

委員長

それでは何かご質問やご意見はありますか。2021年の9月に開館という説明でしたが、どの本を持って行って、どの本を廃棄するのかという作業は、2020年の1月くらいから開始するということですか。今の時点で決まっていることがあれば説明してください。

事務局

検討中です。

委員長

蔵書の整備については、蔵書の構成や除籍する冊数など、かなり手前に計画する必要があります。オーテピアの場合はどうでしたか。

委員

オーテピアは県と市の合築だったのでごく大変でした。詳細な計画は立てられなかったです。市単体であれば、やりやすいと思います。

委員長

限られた予算でどこに重点を置いて整備していくか計画が必要です。市民懇談会をするときは、建物の話しだけでなく、そういう話を同時にしたほうがいいです。

事務局

早めに検討して、本委員会でお話しします。

委員長

他にございませんか。ないようでしたら次の項目に移りたいと思います。設計者からの提案内容についてお願いします。

設計者

～提案内容の説明（設計者の提案内容参照）～

事務局

続けて、図書館から設計に対する要望を説明します。

新図書館は、委員の方々、市民の方々のご意見を参考に、図書館の本館・分館の職員が中心となって方針を検討していきます。設計者の提案を受けて、10月3日に第1回の図書館職員の会議を行い、設計に対する要望をまとめましたので、その内容を説明します。

まず、各部屋はデッドスペースがない形状とし、アンパンマン列車が施設内から見えるような配置を希望します。駐車場入り口においては通学路ということも考慮し、安全面に配慮のうえ、事故が起きないような建物配置としてほしいです。また、西日対策を十分なものとしつつ、館内はできるだけ自然採光ができるように望みます。

続いて、エントランススペースについてです。来館者のメインゲートは1箇所でもいいですが、緊急時等に備え、誘導しやすい位置に非常口が必要です。

飲食コーナーについて、においが充満しないように換気できる配置を望みます。

一般開架スペースですが、郷土資料コーナーは貴重書もありますのでセキュリティ面から、カウンター近くに配置していただきたいです。

児童図書開架スペースは、トイレや授乳室を近くに設置してほしいです。

読み聞かせ部屋は可動式の間仕切りを利用し、必要に応じて部屋を作れるような構造としてほしいです。

返却ポストについて、閉館時のみの利用とし、利用者の利便性を考慮して施設北側への設置を望みます。その際に、車両で来られる場合等は、迷惑駐車とならないよう、また歩行者の妨げとならない配慮をお願いします。

ボランティア室は多用途につかえるように会議室と兼用とし、単体の会議室は不要です。

録音・対面音訳室は、防音仕様としていただきたいです。

トイレの台数について、ホールを利用するときなど、最大160名ほどの収容数を想定しているため、大人数に対応できるようにしてください。

屋外テラスは耐久性のある素材にしてください。

駐輪場は、建物の外観を損ねないよう、利便性を考慮し、エントランス付近への配置を望みます。

緑地は、職員での維持管理は人力的に困難であるため、維持管理業務を低減させるものとしていただきたいです。

照明設備について、取替えが生じた際には職員でも取替え可能なものにしてほしいです。

敷地内は全面禁煙を想定しています。

現時点での図書館からの設計に対する要望は以上です。今後は、検討委員の方々及び市民の方々からいただくご意見を参考に、新図書館の整備方針を検討していきますので、よろしくをお願いします。

委員長

それでは何かご質問やご意見はありますか。よろしければ私から設計者の方に質問です。外から図書館を見る人たちにイメージが湧くようにという、コンセプトは非常にいいと

と思いますが、それによりガラス面を多くとっています。軒を伸ばすくらいで、直射日光がそれほど遮られるかと疑問に思う意見がありました。空調の費用が膨大になる懸念はないですか。

設計者

基本的には「庇を出す」「なるべくガラスの高さを抑える」という設計意図があり、形としてはなるべく小さくするというイメージです。ガラスの量については、空調の他、西日の件もありますので、効果的に中が垣間見えるとしつつ、中と外の関係が良い形となるよう設計を進めます。

委員長

日射しを遮るガラスは、かなり高価ですか。

設計者

ガラスの性能について、遮熱性能と断熱性能があり、両方兼ね備えたものが一番高価です。1枚構造のガラスに比べると高額ですが、最近かなり需要が大きくなっているため、以前よりは金額は下がっています。また、空調負荷及び庇のシミュレーションについて、精度を上げていくと最適なガラスの使用範囲が見えてきますので、費用的な面も考慮して、検討は進めていきます。

委員長

維持管理についてはどうですか。

設計者

7メートル以上というような、職員の方では掃除できないガラス面は、基本的には設けないようにします。あと、全部ガラス面だと維持管理の範囲が広くて大変であるとのことです。その点は先ほど申しましたとおり、効果的なガラス面の使い方を今後、事務局の方と一緒に考えていきます。

委員

周辺地域へ配慮した設計をお願いしたいです。例えば、雨水排水ですが、浸水の問題があるので、周辺に害がでないように検討してください。

事務局

隣接農地や、周辺の住民の方には迷惑がかからない配慮については、事務局が設計を検討するにあたっての重要な事項としています。

委員長

他にないでしょうか。

事務局

設計者からの提案資料に工事費の概算について、7億7千3百万程度で記載しています。これについては、事務局として、市の財政状況を考慮して低減を検討しなくてはならない考えです。また、現在の市の財政状況について、今後の検討に色々関わってきますので、検討委員の方にもご理解いただきたいと思います。

委員

市財政を担当していますので、事務局に変わって、市の財政状況について説明します。平成29年度において、市の収入に対して支出が上回り、いわゆる赤字の状態となりました。よって、貯金を切り崩して運営したところですが、今後の見通しですが、収入が段階的に減ることが確実な見込みから、今年度も来年度も同様の厳しい財政運営が予想されます。そこから、来年度予算は圧縮した運営をしていかななくてはなりません。水を差すようなつもりはないのですが、新図書館の運営や設備投資に関して、コスト意識は必要ではないかと考えています。

事務局

市の財政がこのような状況であり、建物にかかる費用のみでなく、運営面にかかる費用も含めて、コスト意識が必要です。しかし、建物については、有利な財源である合併特例債を利用しますので、安易に費用を落とす考えではないです。維持管理費に有効な設備などは、この機会に取り入れて、今後の維持管理費低減につなげたいと思います。今後の検討をすすめる上で委員の方々にもご理解をお願いします。

委員長

この委員会で議論する内容と、それを超えている部分があると思います。以前からずっと議論していますが、必要な運営費がないと図書館は活性化しません。今のような運営だと、市が目指している学園都市構想にふさわしい構造にはならないでしょう。必要な費用は市民の方々に協力していただく方法も考えないといけない。ふるさと納税などで図書館を含めた教育関係の費用を特別に集めることは、市として継続して取り組まなければならない課題だと思いますので、それを併せて考えてください。我々も間をつなぐにあたって、協力します。もちろん、人口が減少している中で、厳しい状況にあることは認知しています。では、他にないようでしたら、次の説明をお願いします。

事務局

提案内容について、現時点での委員の方々のご意見をいただきたいと思います。調査票を準備していますので、事務局までメールでご提出ください。

また、ご意見をいただくにあたって、現行案の良い点は残した形で検討をすすめたいため、支持いただける部分についてもご意見をお願いします。

提出は11月4日（日）終日を期限とします。ご協力をお願いします。

委員長

設計者から特に意見が欲しいところがありますか。

設計者

まず、敷地のどこに建物を配置するかについて、詰めていきたいので、その点をいただきたいです。あと、1階建てというのは図書館として、ワンフロアでサービスできるので、良いと思って提案していますが、それに関してはどうでしょうか。

委員

色々、議論はありましたが、相対的には平屋を支持する意見が多かったです。

委員

質問いいでしょうか。サイン計画はどのように予定していますか。

設計者

基本設計の段階である程度計画はしますが、サインの設置位置・内容・デザインは実施設計の段階となり、最終的な内容は工事のなかでやり取りします。

委員

図書館のサインは重要です。提案内容は開放的でスペースが広くてよいのですが、柱がないため、サイン計画はある程度手前に考えておいた方がよいのではないのでしょうか。天井が高かったりすると、上からのサインも難しくなるでしょう。

委員長

天井が一番高いところは何メートルでしたか。

設計者

約6メートルです。

委員

そうすると、書架の上にサインを置くなど考えられますが、最初の段階から考慮しておいた方がよいかもしれません。

設計者

基本的な考え方は、基本設計の段階で整理させていただきます。

委員長

他にないようでしたら、市民懇談会の説明をお願いします。

事務局

11月開催の市民懇談会について、説明します。開催日時は11月11日の10時からです。こちら、市広報掲載の関係で、9月中に決める必要があります、事務局の判断で日を決定しました。場所は、香美市役所の3階会議室となります。内容は、「設計者選定の経過」「基本計画書の概要」「設計者の提案内容」を説明して、参加者の方にご意見をいただくように考えています。

委員長

どれくらいの参加人数を予定していますか。

事務局

前回は50名をきるくらいでしたので、同じくらいは参加していただきたいと思います。

委員長

50名来れば、ちゃんと広報もされていて、十分に周知されているといえますね。回を追う毎に参加者が増えていけばよいのですが。市民懇談会の回数を重ねる毎に多くならないといけません。あと、市民懇談会では、運営に関わるボランティアを求めていることを訴えていただきたいです。市民懇談会だけでなく、そのことをホームページなどに掲載してください。

教育長

これから図書館に関わってほしい団体が「史談会」「文化協会」「婦人会」などたくさんあります。それらの団体に声かけをしていき、組織作りへ踏み込んでいきたいと思っています。

委員長

運営に関わるボランティアを育てるには意図が必要です。どんな組織体にして、どんなメンバーが必要かということです。図書館を高機能にする能力を持った人材を集めることが必要ですね。市民懇談会のなかに、ボランティアに関する項目がないのはだめです。以前から意見を述べていますが、ちゃんと意図をもって、市民に説明し、ボランティアを募集するようにしてください。運営に関わるボランティアが実現できれば、図書館の運営に関して、専門家が行う部分と市民が支える部分と分かれて高機能になると思います。

教育長

10月から、図書館の体制が、新図書館開館に向けたメンバーとして整っています。設計内容と共に、運営についても、検討が必要です。委員の方にも運営面について、ご意見をいただきたいと思います。

委員長

市民懇談会は、図書館の建物について、内容を知らせる会じゃなくて、新図書館をどう市民が主体になって、運営を支えていくかを含めて、懇談会を開いてもらいたい。現在の案は、そうなっていません。ぜひ努力して、会がそうなるように構成をしてください。

教育長

ただの説明会にならないようにします。

委員長

人口が少なくなって、税収が少なくなっているわけですね。そうすると、高い機能を維持するには市民の参加が必要となります。ですから、市民の方に、市民が要望するのであれば、市民が動く必要があることを分かっていたかなければならない。行政が一方的に意見を聞いて、行政側がやるということではないことを訴えないとだめです。そうしないと市民の図書館にならないと思います。

事務局

11月の懇談会では、その点の呼びかけは口頭でいたします。2月の市民懇談会については、具体化して、ボランティアの呼びかけをするように考えます。併せて、図書館職員と協議しながら、どのようにボランティアの充実を図っていくか検討をすすめていきます。

事務局

オーテピアではどのような取り組みがありますか。

委員

オーテピアでは、大勢の臨時職員を雇用していますが、その雇用期間が切れますので、そのあとどうするか検討中です。学生の方にボランティアをお願いするように検討していますが、無断で欠勤されるケースもあり、労働力としては不安定なところがあります。臨時職員の方々のなかには、通常業務だけでなく、イラストレーターとして優秀だったり、手話が行えたりする方がいて、人材が豊富であることは、運営面で非常に役立っています。技能をもった方が運営に加わってくれる仕組みを作ると心強いと思います。

事務局

学生ボランティアは無償ですか。

委員

無償です。ボランティア保険は大学側が掛けています。

委員

海外の事例では、図書館で新聞の切り抜きを高齢の方がボランティアでしています。実はオーテピアでは、新聞の切り抜きを見てくれる方が案外おりました。データベースがあるにも関わらず、新聞の切り抜きに需要があることが分かりました。そういうボランティアを募集する方法もおもしろいかもしれません。

委員

何かやりたいという意識をもっている人は多いけれど、何ができるかということがわからないので、ただボランティアをやってと言われても声を上げにくい。具体的に何を求めているか提示してくれればよいと思います。

事務局

今後、検討して具体的な内容を示します。

教育長

ボランティアについては、取り組みが遅れていますが、設計の内容に、運営に関わるボランティアの声が少しでも反映されるようにしていければと思います。

委員長

他になれば、本日の会はここまでにしたいと思います。

閉会 19:30